

事業所名

放課後等デイサービス ステラ

## 支援プログラム

作成日

令和7 年

2 月

17 日

法人（事業所）理念	障がいをお持ちのお子様の幸せを願い、将来自律した生活ができるように支援します。						
支援方針	障がいをお持ちのお子様が将来(学校を卒業した後)困らないように訓練をします。働ける為には何が必要か、一人一人個性は違うけど目標は同じです。家庭、学校と連携を深めながら支援していきます。						
営業時間	平日	13 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり
	学校休業日	9 時	0 分から	17 時	0 分まで		
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康状態の把握、健康な心と体を育て、自ら健康管理ができるようになるために支援をします。</li> <li>基本的な生活習慣の習得できるように支援します。早寝、早起き十分な睡眠の確保。</li> <li>食事の前には手を洗う、顔や手足が汚れていたら洗って拭く、洋服が汚れたら着替えるなど、清潔の保持ができるように支援します。</li> <li>適度な運動、鬼ごっこ、サイクリング、水泳など運動を通して体力をつけていきます。</li> <li>調理をすることで、栄養の偏らない食事を本人とともに作っていきます。</li> <li>将来、一人暮らしをしても困らない程度の料理を習得できるよう支援します。</li> <li>おやつ作りにも参加してもらい、栄養のことも少しずつ学んでもらいます。</li> <li>おやつも食事の一部と考え、フルーツ、ヨーグルト、おにぎり、味噌汁などの提供をしています。</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイクリング、トランポリン、鬼ごっこ、水泳、縄跳び、ボール投げ、ボウリングなど体全体を動かす運動で、体感を鍛え、体力をつけ免疫力をアップできるように支援します。</li> <li>外での活動をすることにより、ストレス解消にもつながります。</li> <li>小さいお子さんは、自分のボディイメージがわからない方も多いため、体を動かすことによりボディイメージが身に付いていきます。</li> <li>ブロック遊び、アイロンビーズ、工作については、主に手指を動かすことにより目と手の協調運動にもなり、脳への刺激にも繋がり脳神経の発達を促すことにもなります。</li> <li>作品を作る中で、周りの大人お友達などと会話をしながら作品作りをする場面が多く見られます。作品作りを通して、コミュニケーション能力のアップにもつながります。</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>お買い物学習では、決まった金額のお金を持って昼食の買い物に行きます。昼食代の300円を持ってスーパーにおかずを買いに行き、100円ショップでお買い物したい人は昼食のおかずを買う際に110円、220円残るように考えながら購入します。自分で計画を立ててお買い物をし、レシートをノートに貼り明細を書きます。繰り返していくうちに、お金の価値、旬の食材を知り、レジの並び方やセルフレジの操作の仕方などスーパーでのマナーを学びます。</li> <li>パソコン学習は、15分タイマーをかけて、時間を意識しながらタイピングの練習をします。</li> <li>読書は10分間読書をしています。</li> <li>ルールのある遊びは、ルールを認識すると言う意味ではとても有効です。ルールを守りながら、子ども同士遊ぶことにより認知や行動面の能力の向上に繋がります。</li> </ul>					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員が日々の会話を通して学校での出来事、お家での出来事などの話ができるように傾聴を行い、楽しかったこと、悲しかったこと、困ったことなどないかキャッチし、本人支援や家族支援につなげていきます。</li> <li>友達同士キャッチボールをすることにより会話が増えるきっかけにもなっています。</li> <li>お誕生会、子供たちと職員で話し合いながらお誕生会を作り上げています。</li> <li>昼食のメニューや活動内容、遊びのルール決めなど、全員が参加し話し合う場を設けています。小さな事でも自分の意見を言える場に、自分の気持ちを言葉にして話す事が難しいお子さんもうらっしゃいますが年上の方が話しているのを聞いて真似をしている場面が多く見られます。真似から始まり、回を重ねるごとに自分の意見が言えるようになっていきます。</li> <li>DVDをお友達同士見ることで、楽しさを共有し会話が弾みます。</li> </ul>					
人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節の行事を体験することにより、行事の意味を理解して知識が増え、お友達同士で楽しい会話につながります。</li> <li>電車やバスを利用して、外食を経験することにより、外出のマナーを覚えてもらいます。電車やバスの中では静かに乗る。外食をするときは、自分で食べたいものを選んで注文をする。社会生活を送る上で大切なことです。</li> <li>バザー体験では、50円のくじ引きを子どもたちに売る体験してもらいます。お金の計算、くじ引きを売る経験等は職業体験に通じるものがあります。</li> </ul>						
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の相談対応 ・障がいの特性に配慮した家族環境の整備</li> <li>家族へのレスパイト支援</li> </ul>			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備</li> <li>関係機関との連携</li> </ul>	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や福祉・医療機関との連携、情報共有</li> <li>地域イベントへの参加（粕屋町文化祭、わっしょいフェスタ、クリエイトシネマなど）</li> </ul>			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な研修の実施</li> <li>外部研修への参加</li> </ul>	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>外出活動：お買い物学習（スーパー、百円均一、マクドナルドなど）、福祉バス、バス、電車での移動、雁の巣レクリエーションセンター（サイクリング、公園）、さんさんプラザ（室内プール、小体育館）、クリエイト篠栗（クリエイトシネマ）、臨海リサイクルプラザ（ゴミ処理場見学、広場の利用）、地域の公園の利用など</li> <li>季節のイベントを取り入れた活動：初詣、節分、お花見、お誕生日会、夏祭り、バザー、バーベキュー、クリスマス会など</li> <li>防災学習（防災センター見学、避難訓練など）・性教育（福岡県性暴力対策アドバイザーを招いての学習会の実施：児童、保護者、職員）</li> </ul>						